

1. 材料リサイクル事業者の意義 “住民のリサイクル啓蒙活動例”

材料リサイクルを通じて、住民が自主的にリサイクル啓蒙活動をしている例が多くある

活動例: 飯田市連合婦人会の取り組み

2009年9月10日に飯田市連合婦人会より9名の見学者がプリテックに来社し、容器包装プラスチックのリサイクルの説明を受け、工場内を見学した。

その後、飯田市の「生活と環境まつり」(2009年10月24日、25日)の中で、プラスチックのリサイクルについて展示発表し、プラスチックの分別の大切さや、資源の有効利用・環境負荷の低減につながることを訴えた。



5

2. 材料リサイクル事業者の現状 “再商品化製品の品質・価格”

■再商品化製品の品質

・市町村毎のベールに混入する塩ビラップ含有量によって、再商品化製品の塩素分は大きく影響を受ける。

◆ベール品質向上により: 製品品質向上への影響は非常に大きい

表 現状の再商品化製品の品質

品目	成分	塩素分
PE	PE率80%~	0.3%以下
PP	PP率70%~	0.3%以下
PE/PP混合	オレフィン率90%~	0.3%以下
PS	90%~	-

■再商品化製品の価格

・新たな製品分野の開拓により価格向上が可能

・品質の向上により、代替率を向上させることで、利用価値の向上が可能

6

2. 材料リサイクル事業者の現状 “他工程プラの発生量とその処理”

■他工程プラの発生量

多くの事業者において、50%程度の他工程利用プラが発生している。

■他工程プラの処理

RPF化後、製紙会社ボイラーでの熱利用もしくは、セメント会社での利用がほとんどである。実質的にカスケード利用されている状況である。

また、一部では、油化などのケミカルリサイクルに利用されている例もある。

表 他工程プラの発生量とその処理方法

	A社	B社	C社	D社	E社
ペール入荷量(t)	9,200	16,000	4,200	11,000	15,500
他工程利用プラ発生量(t)	4,500	8,200	2,100	5,500	7,500
他工程利用プラ処理方法	A社	B社	C社	D社	E社
RPF化	約100%	約100%		約70%	約100%
製紙燃料・セメント原燃料化			約100%	約10%	
焼却エネルギー回収				約20%	

※会員企業の例 H21年度見込み



写真 他工程プラ
を原料としたRPF

7

2. 材料リサイクル事業者の現状 “再商品化製品の利用製品への用途”

■現状の利用製品への用途例

- ・プラスチックボード
建築資材、梱包材
雨水浸透柵
- ・建築用資材
ウッドデッキ
- ・日用雑貨品
ポリ袋(ごみ収集袋)
- ・プラスチックパレット

◆ペール品質向上により: 製品品質が安定し、利用用途の幅は広がる

※需要はあるが、制度の変更・制約等により、安定供給が不安などの理由で製品化が実現できていない製品もある

8